

年頭所感

町長 齊藤 讓

輝やかしき平成2年の新春を迎え、我が町の清々たる発展と町民の皆様の限りなきおしあわせを心からお祈り申しあげます。

昨年中は、町政に対し、町民の皆様にご協力なご支援・ご協力をお寄せ頂き誠に有難うございました。心から厚くお礼申しあげます。

思えば、昨年は昭和天皇の崩御という深い悲しみの中で、平成新時代が幕を開けたわけでありましたが、「地平かにして天成る」の平成の願いとは裏腹に、内外共に激動をきわめた一年でありました。国内的には、相次ぐ内閣の交代劇が繰り返えされ、また、参議員通常選挙の結果、与野党が逆転し、現在の消費税の存廃論議にみる如く、政局は一層混乱の度を深めております。

また、国際的にも、世界を震撼させた中国天安門事件を

はじめ、東西冷戦の象徴とされたベルリンの壁に28年ぶりに穴があき、予想をはるかに超える急激な民主化・自由化の嵐が東欧諸国を激しく揺さぶり、「ヤルタ体制からマルタ体制への移行」と表現されるほど、第2次世界大戦後に生まれた東西対決の構図は、いま大きく塗り変えられようとしております。

いずれにしろ、これからの変化は、平和で豊かな世界や国家社会を生みだすための陣痛の苦しみをなければならず、決して将来の混乱を告げる序曲であってはならないとこころであります。

今こそ、私達国民は、豊かに酔いしれたり、目先のこ

とだけに執着することなく、将来をしっかりと見据えた正しい判断と行動が何よりも大切であると思えます。ところで、我が国の経済は3年に及ぶ好景気の持続により、著しい発展を続けてお

ります。この結果、国は、明年度は、計画どおり赤字公債からの脱却が可能となり、一方、地方団体の財政状況も、この間、極めて好転してまいりました。



ありますので、地権者の皆様をはじめ、関係者の皆様の特段のご理解・ご協力をお願い申しあげます。

また、これらの建設投資事業と併行して進めてきた人づくりのための学校教育・社会教育も、諸々の試みの中で、いま光町の特色ある成果が生まれつつあるし、更に、福祉の芽も着実に育ってきているものと確信いたします。

当町も、お蔭様で、昨年は町制施行35周年の節目の時を迎え、21世紀に向けた町づくりが、いま急ピッチで進行いたしております。篠本開発・幹線道路の整備・東陽病院建設の三本の柱は、町づくりの骨格をなすものでありますが、この中、東陽病院の建設着工が本年2月末か3月上旬にずれ込む以外は、すべて順調に進捗いたしております。特に、篠本開発については、町が開発を進めている工業用地に厳選の結果、帝国ヒューム管株式会社を誘致することに内定し、近々正式決定をする運びとなりました。同社の進出は、必ずや地域の発展に大きく貢献するものと期待すると同時に、後背地の第2期工業団地の開発にも大きな弾みとなるものと考えております。今後

も、私は揮身の力をこめてこの篠本開発に取り組む決意であります。

平成2年度からは、新たに向こう6ヶ年の第2次基本計画が動き出す訳であります。私は、これを「活力と調和のタウン計画」と位置づけ、いま継続中の事業を軸として均衡ある町づくりを積極果敢に進める所存でありますので、本年も昨年に倍した町民の皆様のご支援を重ねてお願い申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

